

メガトレンド

気候変動 容器のアルミニウム化ニーズの拡大 EVの普及(モビリティの軽量化) DXの進展

インプット(資本)

財務資本

安定した事業運営の原資

- フリー・キャッシュ・フロー: 281億円
- 一般投資: 109億円

成長への原資

- 戦略投資: 72億円

製造資本

世界3極に持つ供給力

- 年間生産能力: 150万t超

多彩な加工力

- 板、押出、箔、鋳造、鍛造、加工

知的資本

世界3極に持つR&D拠点

- 日本、米国、タイ

最先端の知見

- 研究開発費: 43億円

社会関係資本

強固な顧客基盤

- 顧客数: 600社以上(板事業のみ)
- 製品数: 1,000種以上(板事業のみ)
- 供給分野: 缶、自動車、航空・宇宙、鉄道、医薬品・食品包装、建築、IT

最先端研究への参画

- 国家プロジェクトへの参画数: 6件

人的資本

多様な人材

- 世界10カ国以上、約1万人

伝承・共有されてきた製造ノウハウ

- ものづくり学園: 1,794人
- U-KI活動: 360人

理念の浸透

- 対話会: 174回(のべ970人)

自然資本

- 再生可能エネルギー使用量: 23,837GJ

注: 数値はフリー・キャッシュ・フローは2019年、ほかは2020年のものです。

事業活動

競争優位性

素材を活かす技術



UACJ独自の6事業連携

- 素材+加工による高付加価値部材を提供
- 顧客の生産プロセスを最適化するサービスを提供
- アルミニウムならではの環境価値を社会に提供



世界3極の供給体制 (日本・米国・タイ)



サーキュラーエコノミーの推進 (水平リサイクルの展開)

サステナビリティ経営

価値創造を支える基盤

- ステークホルダーとのコミュニケーション
- 品質保証
- サプライチェーンマネジメント
- 安全・衛生
- 人材マネジメント
- 人権マネジメント
- コーポレートガバナンス
- コンプライアンス
- リスクマネジメント

目指す姿
アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界へ。

アウトプット

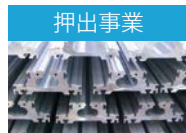
社会を支える製品供給



飲料製品
(ボディ材、クロージャー材)
自動車
(パネル材、熱交換器材)



自動車
(バンパー、サンルーフガイド)



自動車
(フレーム、熱交換器材・配管材)
IT製品
(スマートフォン筐体)



医薬品・食品包装
(PTP箔、レトルトパウチ)
電池
(リチウムイオン電池用箔)



自動車
(コンプレッサホイール、カーエアコン部品)
鉄道車両
(高速車両用軸箱)



建材
(エキスパンション・ジョイント・カバー)
産業機器
(工業用ファン、タンク材)

アウトカム

暮らし・産業を支え、
環境問題の解決に貢献

財務資本

- Adjusted EBITDA: 447億円
- 営業キャッシュフロー: 386億円
- ROIC: 2.2%
- 有利子負債削減額: 82億円
- 時価総額: 1,286億円

製造資本

- 重篤災害発生件数: 0件
- 総合度数率: 4.65
- 操業度改善: 2億円
- TAA業績改善: 31億円
- UATH業績改善: 42億円

知的資本

- 特許件数: 1,518件
- 論文掲載数: 85本

社会関係資本

- 重大品質不具合件数: 3件

人的資本

- 従業員満足度: 3.24
- 従業員一人当たりの研修時間: 0.9時間/年
- 管理職に占める女性比率: 2%

自然資本

- CO₂排出削減量: 約66,000 t-CO₂
- PRTR排出対象物質削減量: 119t
- 産業廃棄物削減量: 約5,800t
- 缶ボディ材における非新地金の割合: 71%

注: 数値は2020年のものです。